

+幸せを求めるあなたに

あなたは一人ではありません *You are not Alone.*



私は一人だと思っていました 深刻な肉体の苦しみと孤独の中から、最高の幸せを知ることになった方の話です。1995年、普段に通っていた内科の院長から、全く

予想もしていなかった話を聞くようになりました。心臓の音が変わるから、大きい病院に行って精密検査を受けてみてくださいということでした。その後、大学病院で行われた精密検査は、心臓の筋肉に深刻な問題が生じた心臓病だという診断でした。2年後、胸部外科と心臓内科の医師たちが集まって30分以上討論をした後、危険の負担があまり大きいから、手の打ちようがないと言われたのでした。ちょうど、新しい治療法が開発されたというニュースが聞こえてきたので、主治医の推薦で、ソウルのアサン病院に移るようになりました。10日あまりかけた精密検査の後、手術の日が決まりました。今でも手術室に入った日の体験を忘れることはありません。その日、私は人生の多くのことを考えて体験するようになりました。手術室へ向かうベッドの横についてきた妻と母、「行ってらっしゃい」という言葉とともに、手術室の門の前で手を振る姿を見ながら「ああ、人生は結局、一人なのだな!」ということを感じました。なぜか分からない孤独に襲われました。手術室に横になっていた時、主治医が訪ねてきて、最善を尽くすから心配しないでくださいと言ってくれましたが、慰めにはなりません。私の心に、なぜか分からない孤独と恐れが積み重なりました。「神

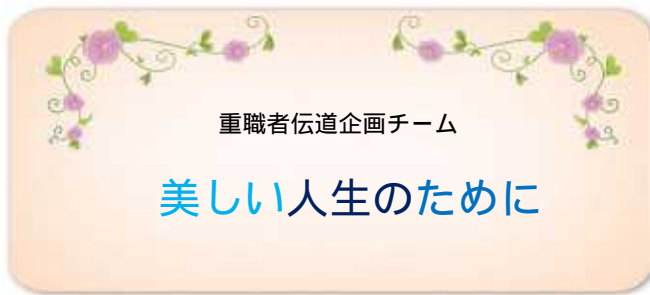
様、私の心は、本当に孤独で恐ろしいです。私を助けて下さい」その時、神様が私に思い出させてくださったみことばを、今でも忘れることができず、思い出す時ごとに、私には大きい力となっています。「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。(イザヤ 41:10)」はじめて私は悟りました。「私は一人ではないんだな!」それ以後、一度もその方が私とともにおられることを忘れたことはありません。手術を終えて、集中治療室の個室で腕と脚が縛られたまま5日間、横になっていた時にも、その方は苦しみに勝てる力を私にくださいました。私はもう、孤独ではありませんでした。退院した日、私の人生は完全に変わっていました。その後、12年が過ぎました。今日は、しばらく登山に行ってきました。登っている間に、アメリカ出身の混声デュオのカーペンターズ(Carpenters)の「Top of the world」という曲を聞きました。「私は世の中のとっぺんに立って、世の中の全てのものを見下ろしています..あなたの愛が私を世の中のとっぺんに上げてくれました(I'm on the top of the world looking down on creation...Your loves put me at the top of the world)」その方の愛がいつも一緒にあるので、私は今日も幸せを告白しています。

あなたも一人ではありません 絶望的な孤独の前で、私はただ3つの告白をしただけです。「神様、私は私に近づいた運命と病気をどうにもできません。私がなぜ、こういう目に会わなければならないのか、どんなことも私は解決することができません。私には神様が必要です」そして、その神様の愛を受けただけです。

今日、この愛があなたのそばに留まっているならば、どうしますか。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネの福音書 3:16)、見よ。わたしは、戸の外に立ってたたき。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。(ヨハネの黙示録 3:20)」





重職者伝道企画チーム

美しい人生のために

私は幸せな人です ♣ある次世代の文章を読みながら、心に穏やかな感動を受けるようになりました。「イエス様がキリストという事実を知ようになりました。はじめに、ただ良くて震えたのですが、問題が迫ってき始めました。すると、『イエス様はキリスト』という言葉が何の話なのか、実際に体験でき始めました。しかし、まだ私にはあまりにも多くの悩みと葛藤、心配、問題がありました。ある日、イエス・キリストの御名で契約を握って祈れば答えられるということを知りました。一つずつ祈り始めました。みことばの中で祈りの課題を発見しました。神様は祈りに答えてくださいました。答えの中で真の幸せと喜びを味わいました。私は幸せな人です。神様の子どもです。その方は私を捨てず、聖霊で私の中にともおられ、今でも、そしてキリスト・イエスの日まで成し遂げていっておられます。今は福音で私の胸が熱くなることを願います。初代教会の聖霊の働きが、私の現場、教会、家庭、民族と世界に起きるその日を描きながら祈ります。今日も、このような告白をしながら寝床につきます。夢の中でも主に会うと考えると、あまりにもうれしくて、感謝します」

人生は流れても、足跡は残ります ♣イエス様を信じるだけでも、イエス様の御名で集まるだけでも殺されて迫害を受ける状況でも、初代教会の信徒たちは、マルコの屋上の間に集まってひたすら祈りながら、神様が与えられる力を受けました。その証拠が、ローマ時代の痕跡と共に、信仰の足跡として私たちに伝えられています。私にすでにくださった祝福、私たちが行かなければならない未来の目標がどのようなものか本当に分かったら、現実も未来も、困難も迫害も恐ろしくありません。苦難の中に咲くバラが美しいように、初代教会の信徒が残した福音を持った伝道者を助ける者として、同労者として、家主として、同国人として、労苦する者として、愛する者として、認められる者としての美しい人生の足跡を、私たちもまた、次世代に残すでしょう。

「私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかくわしいキリストのかおりなのです。(コリント2:15)」

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信

イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15 ~ 16、1ヨハネ 5:10 ~ 13)

祈り答えの確信

神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信

神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26 ~ 27、箴言 3:5 ~ 6)

赦しの確信

あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信

救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31 ~ 37、1ヨハネ 5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。それで、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

私を見つけた人、

私を見つけれなかった人

鉛筆のような人 ブラジルの小説家であるパウロ・コエーリョ (Paulo Coelho) が 2006 年に発表した最初の散文集「流れる川の川のように (Like the flowing river)」を見れば、人生を生きる真実が込められた「鉛筆のような人」という文章が出てきます。おばあさんが手紙を書いている姿を見た少年が尋ねた。「おばあさん、もしかして、私に書いていたのですか」「そうだよ。あなたへの話だ。おばあさんは、あなたがこの鉛筆のような人になれば良いと思っているの。鉛筆には五つの特徴がある。それをあなたができるならば、調和がとれた生活を送れるでしょう。最初は、あなたが大きくなって、大きなことをする時、鉛筆を導く手のような存在があなたにあることを知っておきなさい。私たちはその存在を神と呼んでいる。その方は、いつもあなたを、ご自分のみこころの通りに導かれるのだよ。二つ目は、時々使う手を止めて、鉛筆を削らなければならないということ。当分は、ちょっと痛くても、芯をもっと鋭く使えるようになるでしょう。あなたもそのように、苦しみと悲しみを耐え抜く方法を学ばなければならないよ。それでこそ、もっと良い人になれるのだから。三つ目は、失敗を消せるように消ゴムがついている点だよ。誤りを正すのは恥ずかしいことではないの。むしろ、私たちが正しい道を歩くように導いてくれるでしょう。四つ目は、鉛筆で最も重要なことは木ではなく、その中に入っている芯だということ。だから、いつもあなたの心の中でどんなことが起きるのか、その声に耳を傾けなさいね。五つ目は、鉛筆がいつも動くということ。同じように、あなたがするすべてのことは、やはり痕跡を残すというのを心によくとどめておきなさい。私たちは自分が何をするのかいつも意識しながら生きていかなければならないということだよ。」これが私を見つけた人の人生の話ではないでしょうか。

エリートにないこと 6 つ 本当に神様の恵みを受けたエリートは、6 つのことがありません。全てのもを治めておられる神様が聖霊でともにおられるという事実を知っているから、言い訳がありません。滅びることがない神様の子どもであることを分かるので、どんなことが起こっても落胆したり、あきらめたりしません。全能な神様の力を分かるので、だれも恨みません。だから、絶対に否定的な人になったり、墮落したりすることもありません。自分だけを考える利己主義を越えて、多くの人を生かす祝福された影響力を与えるようになります。どうすれば、このような人生を生きていけるのでしょうか。

私は何で幸せですか 人間の慢性的な運命と運勢、だれも解決することができない罪と呪い、目に見えないように人間を滅ぼすサタン働きから解放してくださったイエス・キリスト、この中にいる私、神様がともにおられる私を発見するのが幸せの開始です。そして、私の信仰を通して働くキリストの力を体験する時、幸せを味わうようになります。そうすれば、私が生きていかなければならない正しい生活の理由を知ようになります。私の人生を通して、家庭と家系、地域の呪いの相続、暗やみの文化が崩れて、出会いの祝福と次世代に霊的な祝福が伝えられる働きが起きるようになるのです。私を見つけた人は、自分の弱さを持って神様の前に立てば良いのです。深い祈りの中で聖霊の導きを見上げて、神様の計画が発見できた時、挑戦すれば良いのです。この人が、神様が必要とされる人です。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

2日(月)

後ろで私を守られた主(1コリント 15:1-11)

私は何で幸せですか。神様が幸せで、契約を握って祈ることで幸せで、神様の働きを待つ、待つことのために幸せならば、すべての過去は祝福の土台と機会に変わるでしょう。

3日(火)

隣で私を守られた主(使徒 16:6-10)

私の霊的状态の現住所はどこですか。聖霊がともにおられることと、聖霊の導きと、聖霊に満たされることを握って、深い祈りの中に入る時、過去の問題が解決され、未来の土台を準備する今日の祝福を味わうようになります。

4日(水)

前で私を守られた主(使徒 27:24-25)

私は未来に対する確信がありますか。神様は福音を持った者を通して世界を生かす明らかな未来を約束されました。それで、祈り中心に私のすべてのスケジュールをたて、専門性あるように仕事をしながら、神様がくださる機会の前に挑戦すれば良いのです。

5日(木)

個人の3つの変化(使徒 18:2-4)

個人の無能と霊的問題は、多くの困難にあうようにさせます。普段の時に、個人的に聖霊に満たされる方法を見つけて、教会を通して力を受けて、深い祈りの中に入る時、霊的問題の中でも神様の特別な計画を発見するようになります。

6日(金)

結婚に関するメッセージ(使徒 18:1-4)

エリートであるほど、上流層であるほど、結婚を大切に考えます。それで、結婚前と結婚の時と結婚後で、そろえることをあらかじめ考えながら第2の人生を準備して、世界福音化の使命を持つ家庭の祝福を受けなければなりません。

7日(土)

全てを捨てても必ず握らなければならないものがあります(使徒 1:12-14)

多くのことを握るのが重要なだけでなく、真実なことを握らなければなりません。イエスがキリストという事実、神の国、聖霊の満たしという契約を握って味わう時、必ず真の力を得て勝利するようになります。

週間メッセージ

聖日 1部 :福音の中にある私を見つけよう
(テモテ 2:1-7)

聖日 2部 :復興の時代に備えた人々(使徒 6:1-7)

バカなオンダルとピョンガン王女

かなわない愛を劇的な成功ストーリーとしてかなえた愛の物語。韓国の古代の文学史にあって、国境と身分を越えた最高のラブストーリーとして伝えられる二つの物語は、新羅のシンピョン王の美しい三人目の娘ソンファ王女を慕って、国境を越えた百済のソドンとの間のロマンス、そして泣き虫だった高句麗のピョンガン王女とバカでうわさが立ったオンダルとの愛の物語だ。

ストーリーの真偽とは関係なく、二つの話とも、どちらも賢い女の決断で、自分の男を成功させたということが興味深い。ソドンは百済の武王になって、オンダルは將軍になった。とりわけ、老いたお母さんを養いながら対策なくて毎日を送っていたオンダルに嫁に行ったピョンガン王女は、その日から夫に武芸を身につけるようにさせて、戦争の英雄の座に上るようにさせたので、環境のせい、人のせい、背景を恨むことで忙しいこんにちの私たちに投げる教訓は手厳しいと言えよう。現実にはばられないで未来を見る力は、洞察力から始まる。その洞察力は、人や状況を深くのぞいて見ることができる力を意味する。言葉どおり、great insight (グレート インサイト)である。深く見つめるのだが、短所でなく長所を見つめて、いくらにもならない長所であっても、その長所にある無限の可能性を見ることができるからこそ、人生に良い実を結ばせる知恵だ。

身分と国境を飛び越えて「その人の内面」に注目したと言うことができよう。その内面の中に隠された可能性を発見するのが洞察力だ。ソンファ王女は、賤民であったソドンから王の気質を発見し、ピョンガン王女は、バカなオンダルから忠実な勇士の気質を発見したのだろう。

聖書もひとりの洞察力で契約を成し遂げていくストーリーを語ってくれている。エリコの町の偵察をしたサルモンは、遊女ラハブを発見してボアズを産み、イエス様の家系に入れた。サムエルは、エッサイの息子の中で末っ子のダビデを発見して、次世代の王として油を注いだ。エリヤは、ヨルダンの川岸の田舎農夫エリシャを発見して、イスラエルの初期の預言者として立てた。パウロは、牢屋で会った逃亡者のオネシモを発見して、伝道と宣教に益となる者にした。

洞察力は、私たちに発見の喜びをプレゼントとして与える。あわせて、成就の喜びも付いてくる。ところで、この喜びは純然な愛を基盤にした忍耐と待つことがあってこそ、完成されるのだ。パウロは、ル

ステラでテモテを発見した。そして彼は命をかけたのだった。神様の願いを成就していく彼の人生の道に必ず必要な人、必ず一緒にいたい人を見つけた瞬間、ルステラとイコニオムで石に打たれて死ぬ危険を押し切って彼を弟子として立て、信仰のなかで愛する者、彼が産んだ息子になるようにした。パウロの人生の道は、こういう出会いで美しく素晴らしく織りなされている。ローマ16章記録されたキリストの弟子たち...、福音のために鎖につながれて、死を迎えなければならないその瞬間にも、彼が懐かしがって愛したいのちの関係の人々は、彼が持った鋭い洞察力とあわせて、福音の前で清く自分のいのちを投げてしまうキリストの愛、そして「神の国のためにすすんで独り者となり」患難の中でも昼夜休まないで涙で祈って表わした忍耐と待つことの実だった。(イコリント7:8、使徒20:31、コリント2:4、コロサイ1:24)

ところで驚異的なのは、まだ進行している神様のヒストリー(His story)の中に

「あなたと私」「私たち」が発見されたという

ことだ。

百万種類の弱さの中で、神様は何を見て私たちを発見して出されたのだろうか... 神様の洞察力に、無限に感謝するだけだ。

随筆家、
イエスサン教会牧師夫人、
キム・ユスン

イラスト_ユン・スルギ



* 相談したい方はこちらまで連絡してください